令和８年度　　野洲高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・地域と連携・協働した学びや普段の学校生活での関わりを通して、人とのつながりを大切にする心を養う。
・多様な学習ニーズ等に応じて生徒の個性や能力を伸ばし、確かな学力や豊かな人間性・社会性・主体性を養い、将来をたくましく切り拓いていく力を育成する。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	担任、顧問、教科担任や分掌や係、事務室など、素早く連携し、組織で学校を運営している。	A		
	野洲市や地元自治会、卒業生など、幅広く学校外の人材との協力を進めながら学校を運営している。	A		
2　学習指導	授業時間を確保し、シラバスに基づいた「わかる授業」づくりに取り組んでいる。	B		
	分割授業やチームティーチングを取り入れ、基礎学力の定着に努めている。	A		
3　生徒指導	授業規律および学校生活や社会のルールを守る意識を高めることに重点的に取り組んでいる。	B		
	生徒一人ひとりが基本的生活習慣を身につけることができるよう、丁寧な指導に取り組んでいる。	B		
	生徒の状況を常に把握し、いじめのない安心な学校づくりに努めている。	A		
4　進路指導	進学や就職の適切な情報提供を行い、説明会や個別相談などの機会を設けて生徒一人ひとりの進路実現に努めている。	A		
	職業インタビューや進路別ガイダンスなどを通じて生徒の自主性・自己理解を養わせ、職業観の育成に取り組んでいる。	A		
5　特別活動等	学校行事や部活動などの意義や目的を、家庭や地域と共有してそれぞれの活動に取り組んでいる。	B		
	生徒の実態や発達段階に即したHRや学校行事を計画して活発に取り組んでいる。	B		
6　学校図書館	読書に対する興味を持たせ、生徒の心地よい居場所としての図書館づくりに努めている。	A		
	授業や学校行事・LHRなどで、学校図書館が活用されるよう、教員や生徒への積極的なはたらきかけに努めている。	B		
7　保健・安全指導	生徒の交通安全や事故防止、防災・危機対応について、意識を高める指導に努めている。	B		
	事故、病気、怪我などの緊急時に対する体制を整え、適切に対応している。	A		
8　人権教育	ぬくもりのある仲間づくりに努め、反差別・人権尊重の態度を育成している。	B		
	生徒が相談しやすく、安心して生活できる環境づくりに努めている。	A		
9　環境教育	体験的学習や日常の清掃活動を通じて、環境を守る意識を高めることに取り組んでいる。	B		
	ゴミの分別や減量化などの環境美化活動に積極的に取り組んでいる。	B		
10　事務・管理	学校施設および用具の適切な使用のため、安全管理に努めている。	B		
	学校が保有する情報の適切な管理・処理に努めている。	A		
11　その他 学校の取組	配布物だけでなくHPやメールなど様々な方法で学校の動きを素早く正確に伝えようとしている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：https://www.yasu-h.shiga-ec.ed.jp/